

# コンプライアンス

コンプライアンスは経営の根幹であり、ビジネスモデルや経営戦略と表裏一体となるものであって、企業理念を実践するうえで組織の各レベルにおいて適切な管理が求められるものと考えています。そして、役職員一人ひとりが主体的・能動的に業務に取り組むなかで、コンプライアンスマインドを育むことによって実現されるものであると考えています。

## 業務運営とコンプライアンス

DBJグループは、融資、投資、アドバイザー・ナレッジ、アセットマネジメントなどを一体的に展開する独自の金融グループです。DBJグループは、お客様の期待に応えることを第一の責務として、法令等遵守にとどまらず、社会からの要請にも感度を持ち、顧客本位の業務運営を実践します。現業・管理・内部監査の三線がコンダクトリスク抑制に

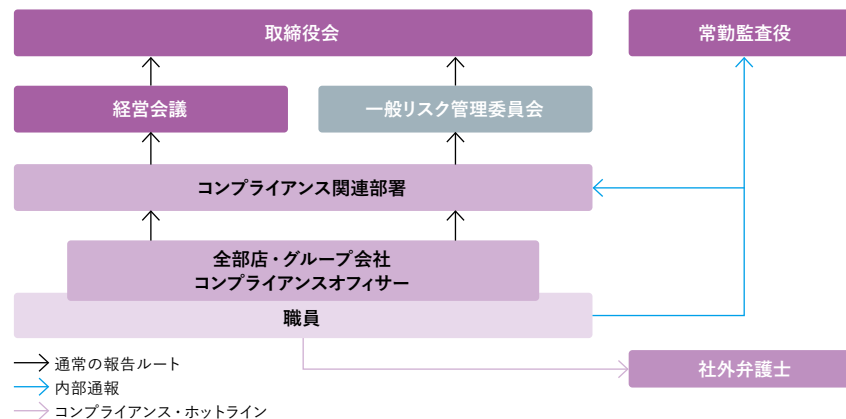
向けて適切に機能することで、コンプライアンスを全うしながら業務を遂行しています。さらに、企業理念の実現に向け、行動基準を定め、役職員一人ひとりが経済価値と社会価値の両立を目指して行動しています。

## コンプライアンス態勢の概要

コンプライアンスに関する基本方針や規程を定め、全役職員が実践できるようコンプライアンスマニュアルを策定・配布し、研修・説明会を通じて周知徹底を図っています。DBJグループ各社は毎年度各社の実情に沿ったコンプライアンスプログラムを策定、実践しています。コンプライアンス関連部署を設置し、経営会議や取締役会に対して法令等遵守の状況を報告しています。各店舗に置かれたコンプライアンスオフィサーは、店舗内のコンプライアンスに関する報告・連絡窓口として機能しています。コンプライアンス関連部署は、必要に応じて、助言・指導等を行っています。問題の早期把握と解決のため、通常の報告ルートとは別に、コンプライアンス関連部署や常勤監査役に内部通報窓口を設けているほか、法律事務所にも外部窓口を設置しています。

改正公益通報者保護法を踏まえた通報者保護の徹底と制度の信頼性向上にも取り組み、グループ各社においても同様の態勢整備を進めています。

### コンプライアンス レポートライン



## DBJグループの具体的な取組

法令等遵守をお客様からの信頼の維持、業務の健全性及び適切性確保のため必要不可欠なものであると考えており、法令等遵守の徹底を経営の最重要課題のひとつとして位置づけています。役職員は、コンダクトリスクの抑制に向けて意識を涵養し、あらゆる法令やルールを遵守するとどまらず、社会的規範を逸脱することなく、誠実かつ公正に業務を遂行していきます。

### インサイダー取引未然防止態勢

投融資一体型の金融サービスを提供するうえで、インサイダー取引規制の遵守が信頼維持のために不可欠なものであると考えています。役職員の株券等の売買等について規程を設けているほか、投資業務における厳格な取引の確認・執行手続や調査業務における会社情報の慎重な管理や取り扱いを定め、インサイダー取引未然防止態勢を構築しています。

### 腐敗行為の防止に向けた取組

DBJの公共性に鑑みて、DBJ法には役職員が職務に関し不正な報酬を收受してはならない旨の定めが設けられているほか、内部規程類にて役職員が取引先等と接触する際の留意事項を定めています。また、DBJによる腐敗行為の防止のみならず、利用する第三者や投融資等の関係者が腐敗行為に関与することを防止するための取組を行っています。

### 反社会的勢力等との関係遮断

「反社会的勢力に対しては、警察等の外部機関とも適切に連携しつつ毅然として対処し、一切の関係を遮断する」旨の基本方針のもと、規程類の整備や研修実施等の徹底に努めています。個別事案ごとに丁寧にリスクを把握・管理し、必要に応じて外部専門機関とも連携しながら、適切に対処しています。

### マネー・ローンダリング及びテロ資金供与対策

グローバルな事業を展開するなかで、マネー・ローンダリング及びテロ資金供与対策の重要性を認識しており、FATF(Financial Action Task Force)や監督当局の視点に沿った、マネー・ローンダリング及びテロ資金供与対策の強化を進めています。為替取引の取り扱いがなく預金を受け入れていませんが、その業態等に応じたリスク評価を実施し、リスクに応じた対策を実施しています。適切な手続実施のための態勢確保や定期的なリスク管理業務の実施に加え、役職員の研修実施等の徹底にも努めています。また、諸施策について検証を実施し、継続的に態勢強化を図っています。

## 顧客保護に関する方針

「お客様視点」を重要な行動基準のひとつとして定め、お客様の保護及び利便性の向上の観点のみならず、業務の健全性及び適切性の観点から、顧客保護に関する基本方針を策定し、顧客保護等管理態勢を整備しています。

### 利益相反管理

融資・投資・アドバイザリー・アセットマネジメント等の金融サービスをお客様に提供するうえで、DBJグループの利益を優先してお客様の利益が不当に害されることがないよう、利益相反のおそれのある取引について取引類型やリスクの程度に応じて管理する態勢を構築しています。また、取引に際して、お客様から同意を取得する際には、適切かつ十分な説明を実施するなどの措置を講じています。

### 顧客情報管理

グループ会社との顧客情報の共有に関する規制やインサイダー取引未然防止、利益相反管理といった法令上の要請にとどまらず、お客様からの信頼維持の観点から、顧客情報の管理には細心の注意を払っており、顧客情報を慎重に取り扱うための管理態勢やシステムを構築しています。